

細則様式第4号

論文審査及び最終試験結果報告書			
氏 名	森山 武		
入学年度	令和2年度	学籍番号	20GG905
領 域	総合リハビリテーション科学	分野	
審査委員	主 査	吉田 英樹	
	副 査	尾田 敦	
	副 査	藤田あけみ	
	副 査	高見 彰淑	

論文題目：血球低値を示す血液内科疾患症例におけるリハビリテーション上の安全性
および有益性に関する研究

審査結果要旨：

本研究は、血液内科疾患症例に対して、採血データによるリハビリテーションの中断例を少なくし、継続的な介入を行うために、新たなリハ介入緩和基準（以下、新基準）を設定し、ADL 自立度や在院期間、有害事象等の比較検証を行ったものである。さらに疾患別や運動種目、強度を再設定した上で新基準の安全性や有効性を検証している。第1章では、従来の基準に比べ新基準群では、ADL 低下を認めず、入院期間は有意に短縮しており、介入の有用性が示された。第2章では、疾患別（悪性リンパ腫、多発性骨髄腫など）の観点から、介入効果が示された。また、第3章では、運動種目と強度を設定した上で前向き研究を行い、新基準での介入が有害事象の発生が少なく、十分利用可能であることが示された。これらの結果は非常に有用であり、本領域の発展につながる挑戦的な取り組みである。さらに系統的に研究が進められ、論文中にもその記述が適切にみられた。

申請者は、学位審査論文及び学位審査会を通じ、本研究の意義、結果に対する解釈において的確に論述されており、質疑応答も的確に対処していた。適切な倫理的手続きに基づき研究を進めてきたことは、独立した研究者として研究の遂行ができる高い能力を有していることを証明している。これらのことから博士の学位に相当すると判断した。

最終試験 令和 5 年 1 月 17 日
試験の結果は 合 格 ・ 不 合 格 と判定する。